

[25_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1474984>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 25 (2), 1992-03-15. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

Q&A

このページには、センター利用に関する質問（Q）とそれに対する回答（A）を掲載しています。

このページはユーザのみなさんからの質問によって成り立っています。広報巻末の質問票を利用して質問をお寄せ下さい。

Q：GRAPHMANを使用しています。PDBCREというGRAPHMANのサブルーチンを用いたFORTRANプログラムをバッチで実行して、新たにPDBを創成し、図形を登録したいのですが、PDB1009 というメッセージIDのエラーが出て、PDBの創成に失敗します。どうしたらいいのですか。

A：GRAPHMANではPDB（Picture Data Base）に図形を登録するようになっています。このPDBを創成する方法の一つがFORTRANプログラム中でサブルーチンPDBCREを用いることですが、これをバッチで行う場合には、IPFIN、IPFOUTという2つのDD名を割り当てておく必要があります。これは、PDBは一つデータセットであり、それを新規作成するために、サブルーチンPDBCREがIPFというソフトウェアを使用して、バッチ下で動的割り当てを行うためです。例として以下のようにすればPDBを創成することができます。

```
//A79999AG JOB CLASS=A
// EXEC FORT,STEP=CLG,PRVLIB='APPI.PICLIB'
//FORT.SYSIN DD *
    PROGRAM MAIN
        :
        :
        CALL PDBCRE('A79999A.PDB.DATA&',100,0,'&','&','&',1)
        :
        :
    STOP
    END
/*
//GO.IPFIN DD DUMMY
//GO.IPFOUT DD SYSOUT=*
//
```

なお、GRAPHMANに関する文献には、

「FACOM OS IV/F4 MSP GRAPHMAN説明書」

「GRAPHMANを使ってみませんか!?」 九大センター広報 Vol. 23 No. 2
があります。